

普及情報

【件名】

令和4年度県域林業女性“いどばた交流会”が開催されました

【内容】

令和4年10月26日（水）に県内の林業研究グループの女性会員ら88人が集まって、令和4年度県域林業女性“いどばた交流会”が、山口県林業研究グループ連絡協議会及び山口地区林業研究グループ連絡協議会の主催で開催されました。

この交流会は、例年、県内の地区持ち回りで開催されています。今年度の目的は「県内各地の林業女性の交流により、各グループが有する技術を共有し、連携を密にすることで、林業女性のさらなる活躍を推進する」こととし、山口市阿東で開催されました。

午前中は、阿東地域交流センターで「古布Re^{さくら}飾り」製作体験を行いました。「古布Re^{さくら}飾り」という名前には、不要となった古布と、やはり不要となった桜の枝（てんぐ巣病の部分）を共にリサイクルして、新たにオリジナルの飾りを創るという意味合いが込められています。古布や桜の枝は、開催地区の女性会員が皆で協力してワイワイと賑やかに交流しながら事前準備したものです。当日、参加者は各人に配られた桜の枝を前に、思い思いの箇所に古布を取り付けていき、世界で1つだけのオリジナル作品を完成させていきました。

午後は、近所の「なかおりんご園」に場所を移動して、昼食&りんご狩りをしながらの交流を楽しみました。途中、林業女性グループが林産物を活用して製作した特産物の展示販売も行われ、人だかりができていました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、3年ぶりとなった開催でしたが、直接会って情報交換することで、お互いに刺激を受けた交流会となりました。



「古布 Re さくら飾り」製作体験の様子



作品を手に参加者で記念撮影